

バスの駅「徳島とくとくターミナル」完成

徳島河川国道事務所

工務第二課 梶原 政宏



1. はじめに

平成15年4月6日(日)に一般国道11号徳島県板野郡松茂町中喜来において、国土交通省と徳島県が共同で整備を進めておりました交通結節点改善事業であるバスの駅「徳島とくとくターミナル」が完成しましたのでご紹介します。

2. 1 バスの駅の目的

徳島県では、本州四国連絡道路のひとつである神戸淡路鳴門自動車道の開通以来、京阪神～徳島間の高速バスの利用者が増加しているなか、高速バスの発着場所である徳島駅周辺では、慢性的な渋滞が起きており、マイカーでの送迎が交通混雑の一因となっています。

そこで、交通結節点改善事業として郊外に新しいバスの駅を整備することにより、徳島市中心部に集中していた交通の分散化ができ、渋滞緩和が期待出来ます。



図-1 徳島とくとくターモナル位置図

2. 2 交通結節点改善事業とは

交通結節点改善事業とは、バスの駅などの交通結節点において、円滑な乗り継ぎや乗り換えを効率的に確保することを目的として、道路敷地外を含めた連続的な空間の整備を図るために実施するものです。

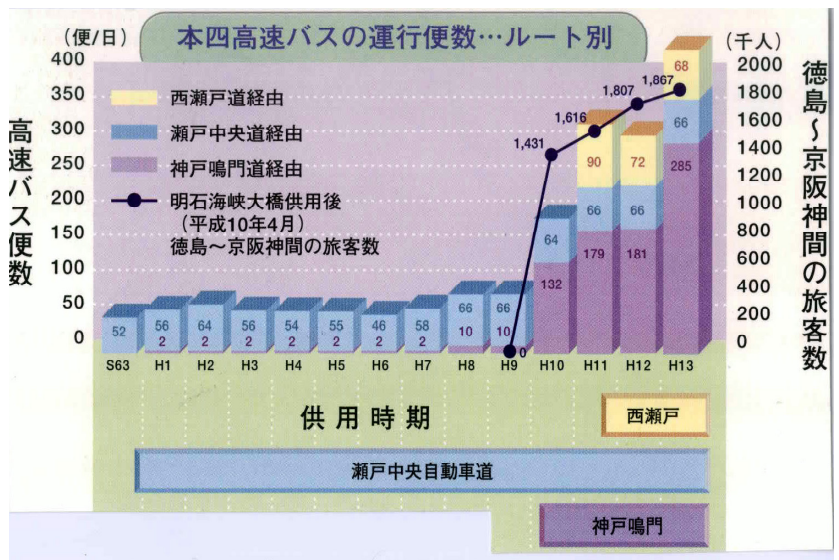


表-1 本四高速バスの運行便数

2. 3 事業の経緯

①事業の経緯

平成12年度：松茂町バスベイ整備事業として事業化

平成13年度：用地買収完了、工事着手

平成14年12月：公募により名称を「徳島とくとくターミナル」と決定

平成15年4月6日：完成

②国土交通省と徳島県の施行分担

国土交通省：バス乗降場、バス待合室、横断歩道橋、駐輪場

徳島県：物産館、有料駐車場、屋外トイレ

③事業費

国土交通省：約15億円、徳島県：約17億円

2. 4 施設概要

①国土交通省施行施設

○バス乗降場：バスシェルター5基（出発2基、到着3基）

京阪神方面を中心とした高速バスが停車

平成15年4月現在 1日当たり上り124便、下り126便

○待合室：敷地面積332m²、延べ面積74m²、机2基、ベンチ7基、

○駐輪場：駐輪台数32台

②徳島県施行施設

○有料駐車場：221台／入庫5：00～翌日2：00（出庫は常時可）

料金：100円／時間（最初の1時間は無料、1日800円を上限）

○物産館：開館時間／8：00～20：00 年中無休

農水産物・土産物等の店舗、物産観光情報コーナー

公衆トイレ、大型バス駐車場（8台）

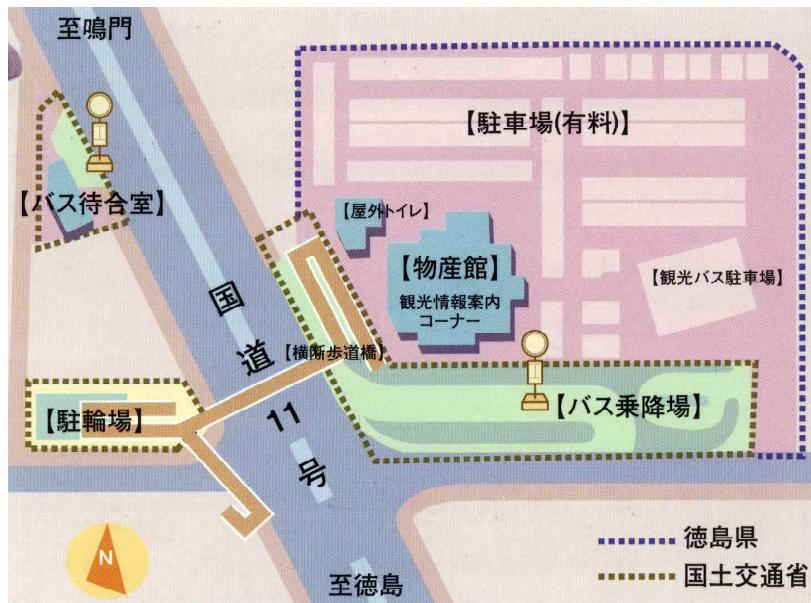


図-2 施設の案内図

